

# 令和3年度シラバス (教科・科目: 数学・数学I)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	3～4	必履修

教科書	学習書・他教材
『新高校の数学I (数研出版)』	『問題演習用プリント (教師作成)』

学 習 目 標
義務教育段階での学習内容の確実な定着を図り、その後高校で学習していく基礎的な知識を習得し、基本的な問題を解けるよう理解を深める。そして数学のよさを認識できるようにするとともに、活用する態度を育てる。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲 (学習期間)
○数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を適切に変形できるようにする。</li> <li>簡単な無理数の四則計算ができるようにする。</li> <li>「不等式」の性質について理解し、「1次不等式」を解けるようにする。</li> <li>「集合」「命題」について基本的な概念を学習する。</li> <li>数と式の課題学習</li> </ul>	○前期中間考査
○2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数とそのグラフの特徴について理解する。</li> <li>2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり、最大値や最小値を求められるようにする。</li> <li>2次関数のグラフと2次方程式の解の関係について理解し、「2次不等式」を解けるようにする。</li> <li>2次関数の課題学習</li> </ul>	○前期期末考査
○図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校で学習した図形の相似の性質を使って「三角比」(正弦、余弦、正接)について学習する。</li> <li>三角比を用いて、三角形の辺の長さや角度の大きさを計算で求められるようにする。</li> <li>図形と計量の課題学習</li> </ul>	○後期中間考査
○集合と命題 ○データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合の基本的性質や記号の取り扱いができるようにする。</li> <li>統計の用語の意味やその扱いについて理解し、データの傾向を的確に捉え説明できるようにする。</li> <li>散布図や相関係数の意味を理解し、「データの相関」について学習する。</li> <li>データ分析の課題学習</li> </ul>	○後期期末考査

計 105～140 時間 (50 分授業)

評 価 規 準 と 評 価 方 法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学的活動を通して、各単元における考え方や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとする。	数学的活動を通して、各単元における数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断しようとし、表現する能力を高めている。	各単元において、事象を数学的に考察し、処理する能力を高め、創造性の基礎を培う力を身につけている。	各単元における基礎的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、基本的な知識を身につけている。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、成績は定期考査の点数を中心に、授業態度、出席状況、夏休み・冬休みの課題の状況、提出物の状況等から総合的に評価する。			

授 業 の 進 め 方、課 題 ・ 提 出 物 な ど
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に必要なもの(教科書、ノート、鉛筆、消しゴム、赤ペン等)を必ず持ってくる。</li> <li>授業中は、しっかりと「聴く」「考える」「書く」。</li> <li>出された課題にしっかりと取り組み、提出期限を守る。</li> </ul>

担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ
<ul style="list-style-type: none"> <li>必履修科目です。卒業にかかわる科目ですから、真剣に取り組んでください。</li> <li>定期考査の点数がよくても、普段の授業態度が良くない場合は、悪い評価となります。逆に、定期考査の点数が多少悪くても、普段の授業態度が良ければ、良い評価となります。</li> </ul>

